



RACE PREVIEW

2011 MFJ全日本ロードレース選手権 J-GP2クラス いよいよ開幕!



「Webike TeamNorick YAMAHA」2011年 参戦体制



2011年、Webike TeamNorick YAMAHAは、MFJ全日本ロードレース選手権J-GP2クラスにシリーズ参戦を果たします。ライダーは、今年、高校生となったばかりの野左根航汰選手。そしてチームを率いるのは、ノリックこと故阿部典史さんのお父さんである阿部光雄監督です。

マシンは、昨年の125ccからステップアップし、YAMAHA YZF-R6をベースとした600ccの車両を用い、今年2シーズン目を迎えたばかりのJ-GP2クラスに挑みます。

ゼッケン番号は31番です。この「31」という番号は、ヤマハの伝説的なゼッケンです。平忠彦氏が1986年に世界グランプリで初優勝を飾った時に付けていた番号でもあり、原田哲也選手が1993年に初めてフル参戦した世界グランプリでシリーズチャンピオンを獲得した時に付けていた番号でもあります。

偉大な先輩方に続き、野左根航汰選手も世界チャンピオンへの夢を叶えるべく、さらなる

一步を踏み出します!

■「Webike TeamNorick YAMAHA 2011年体制発表会」詳細 http://norick.webike.net/2011/03/2011_press-conference/



“スーパーバイクレース in もてぎ”の見どころ

東日本大震災の影響により、大きくレーススケジュールが変更された今シーズン。7月2日(土)・3日(日)に開催される「スーパーバイクレース inもてぎ」で、ようやく2011年シーズンの全日本ロードレース選手権が、全クラスで開催されます。

2シーズン目を迎えるJ-GP2クラスには、スペイン選手権とのダブルエントリーとなる小山知良選手、WGP経験者の中上貴晶選手、2010年シリーズランキング2位の山口辰也選手、TSR製のMoto2フレームを投入する関口太郎選手、上田昇氏が率いるTEAM NOBBYの日浦大治朗選手、2010年最終戦で優勝を飾った野田弘樹選手、J-GP2クラスでの参戦2年目となる宇井陽一選手、生形秀之選手、クラスをスイッチして参戦してくる高橋英倫選手、星野知也選手、佐藤周選手など、トップライダーが続々と参戦を表明しています。

また、レギュレーションの変更により、溝付きタイヤの使用が禁止となったこともあり、今年のJ-GP2クラスは、まさに世界につながる、レベルの高い内容のものとなるでしょう。最高峰クラスのJSB1000クラスでは、このレースのわずか3週間後に控えている「鈴鹿8耐」に向け、最後の調整をしていくチームが多いことが予測されます。各チーム、どのような闘いを挑んでくるのか、こちらも見逃せません。



ライダーからのメッセージ



2011年から、J-GP2クラスに参戦する野左根航汰(のざねこうた)です。今年から600ccのマシンに乗り始めたのですが、まだぎこちないところがあるので、モタードやモトクロスやダートトラックのトレーニングを重ね、力を発揮できるよう頑張りたいと思います。

気持ちは、チャンピオンを目指し、開幕戦でも上位を狙って頑張りますので、応援よろしくお願いします。

阿部監督より「2011年の展望」

典史(ノリック)が、2006年に結成したTeamNorickですが、今年で5年経ちました。野左根航汰も当初からのライダーの一人です。

2010年から全日本ロードレース選手権に参戦を開始し、J-GP3クラスではマシンがほとんどノーマルというハンディがある中、随所に良い走りを見せてくれ、ライダーのポテンシャルの高さが感じられました。シーズンオフ中には、モトクロスやモタードのレースに参戦するなど、将来を見据えたトレーニングに励んでいます。

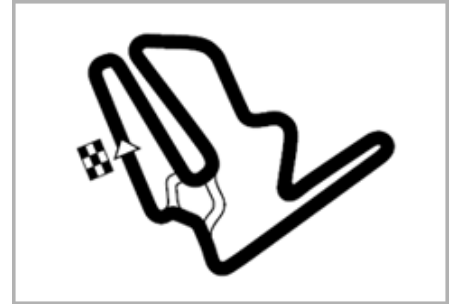
今後の展望としては、今年と来年はJ-GP2に参戦し、本人の成長とマシン作りを進めていく予定です。また、2012年の中盤あたりには、新シャーシでオリジナルマシンを作り、終盤までにMoto2でも通用するように仕上げ、そして、2013年には世界グランプリのMoto2クラスへと野左根を送りたいと思っています。皆さん、ぜひ応援してってください。



全長距離フルコースで4.8kmを誇るヨーロッパピアンスタイルのロードコース。コーナー数14(右8、左6ヶ所)、最大直線長762m、最大高低差30.4mのこの国際規格サーキットでは、多彩でエキサイティングなレースが楽しめる。また、施設内には、ホンダコレクションホールやファンファンラボ、レンタルカートなどのアミューズメントも充実している。今回は、バイク来場が入場無料、7/2(土)のレース観戦が無料など、様々な特典も用意されている。

サーキット概要

コース長	4,801m
コース幅	12-15m
直線長	762m
コーナー数	右8 / 左6
最大高低差	30.4m
アクセス	北関東自動車道 真岡ICより約40分



TOPICS

Webike TeamNorick YAMAHA公式サイト「近況報告」でも、ご報告していますが、今年は野左根航汰選手はロードレース以外にも、オフロードレースやモタードレースにも精力的に参戦しています。

これらのレースでも、2/13のクラブマンモトクロス 第1戦ではN450クラス優勝、2/20の関東ロードミニ選手権第1戦でモタードOPENクラス優勝、4/17の関東ロードミニ選手権 第2戦ではモタードOPENクラス2位と好成績を修め続けている航汰選手...オフでの活躍も見逃せません!

次回のオフロードレースの参戦は、6月19日(日)に桶川スポーランドで開催される関東ロードミニ選手権第3戦を予定しています。

オフロードのマシンも、ゼッケン「31」番で、チームカラーのイエロー&ノリックのトレードマークのシューティングスターが目印です。ぜひ、お近くの方は応援にお越し下さい!



公式サイト情報

Webike TeamNorick
YAMAHA

<http://norick.webike.net/>

野左根 航汰選手 プロ
フィール

<http://norick.webike.net/nozane-kohta/>

参戦マシン紹介

<http://norick.webike.net/machine/>

2011年 レーススケジュール

<http://norick.webike.net/race-schedule/>